

## 分科会開催報告書

報告日 平成29年 12月 28日	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第115回浮雲俳句会
開催日時 平成29年 12月 24日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員	男11名 女6名 合計17名 欠席者0名

### 実施内容

第115回例会は、兼題①客船②仲冬の植物、他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、兒玉國眼会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選5句、佳作9句の発表と、夫々の句についての論評があった。

天賞句	一声を待つ獵犬の背の意志	十 九
地賞句	朽ちし葉や来し方想ふティータイム	勇 平
人賞句	客船の船長船医日向ぼこ	國 眼
特選句	冬薔薇心細き夜薫り撒く	和 女
	四十年続けて咲ける冬至梅	あきえ
	うすき日を拾ひ留めて冬桜	とも女
	明け方の菜園狸駆け抜けり	三 旦
	ご退位の日処付きほっと冬紅葉	一 馬

### 主宰の指導

2018年度の俳句会のテーマが「天体俳句」に決まった。7月の開催日より施行される。計画表に従ってアタックして欲しい。

### 会員高点句

10点句	金欄の衣脱ぎ捨て山眠る	とも女
7点句	湯に入りてみな過去となる大晦日	二 祥
6点句	晦日蕎麦歳月の重さと軽さかな	三 洋

### 次回の予定

平成30年1月28日(日) 午前9時30分～午前11時30分  
能見台地区センター多目的室—A—第116回兼題①浚渫船②晩冬の時候。他に当季雑詠2句。披講柴崎一幸会員